

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	構造モニタリング小委員会	主 査 名：薛 松濤 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：宮本裕治
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>東日本大震災の発生を機に、振動制御機構を有する各種の免震構造あるいは制震構造では多くの観測記録が得られた。その中には、設計時の性能を発揮できたものもあるが、必ずしも設計通りの性能を発揮できなかったものもあった。この小委員会では、耐震設計の基本となる振動モデルの妥当性と建物の耐震性能を客観的に評価する技術体系の完成を目指し調査研究することを目的とする。</p> <p>初年度：免震構造、制震構造、超高層建物を対象として、東北地方太平洋沖地震の際に確認された建物応答記録と設計時の予測性能を比較し、耐震設計にフィードバック可能な知見について討論する。</p> <p>2 年度：構造モニタリング技術の実施例について調査し、建物応答の観測システム、データの活用方法、維持管理、など多くの視点から適応事例を収集する。</p> <p>3 年度：3 年間の活動をまとめ、構造モニタリング技術に関する手引書あるいは事例集としてまとめる。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：薛 松濤 (東北工業大学) 幹事：肥田剛典 (東京大学)、 近藤智佳子 (IHI) 委員：吉元怜毅 (三菱総合研究所)、 佐藤貢一 (大成建設)、 風間宏樹 (日建設計) 曾根孝行 (竹中工務店)、 渡壁守正 (広島工業大学)、 三田 彰 (慶應義塾大学) 西村 功 (東京都市大学)、 池田芳樹 (鹿島建設)、 白石理人 (清水建設) 中嶋唯貴 (北海道大学)、 楠 浩一 (東京大学)、 松下剛史 (NTTファシリティーズ)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「建物の構造・機能評価に関するモニタリング技術の現状」 『同名資料』 参加者数 63名
大会研究集会	1. PD：将来の大地震に備える強震観測とモニタリング (強震観測小委員会と共同) 『構造部門(振動)パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 309名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 達成している (大会PDおよびシンポジウム双方を開催することで)。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし